

# 2018年度 食品などの放射能測定報告

## 1. 測定件数

測定総数 305件 (2017年 463件、2016年 589件)

- ・ 依頼件数 263件
  - 一般 74件 (2017年 136件、2016年 119件)
  - 会員 189件 (2017年 164件、2016年 279件)
- ・ テスト等 42件 (2017年 163件)

測定総数(18年 305件←17年 463件←16年 589件)と依頼件数(263件←300件←398件)の変化に見られる大幅な減少傾向は、砦にとって重要課題の一つである。

特に一般からの測定依頼件数が前年比 54%と下がっている。

人々の放射能に対する関心の低下に効く特効薬はまだ見つからないが、2018年は一つの試みを実施した。「少量検体の長時間測定」の実験と実践である。測定方法として使えるとの結論を得たが、測定件数減少への歯止めとしての効果は今後とも見守っていきたい。

## 2. 測定結果の概評

### (1) 穀類/野菜

56件中12件が検出判定で、37Bq/kgを超えるものはなかった。

エゴマ(36.9Bq/kg)、食用菊(25.8Bq/kg)とさつま芋や山芋などの芋類に10数ベクレルのものがある点は意識して欲しい。

### (2) 筍

測定件数(14件)の半数(7件)が検出判定で、最大値は100Bq/kgであった。

### (3) 茸

全測定件数(10件)が検出判定で、タマゴタケ(505.9Bq/kg)、干し椎茸(576.2Bq/kg)に500Bq/kgを超えるものが出ている。

### (4) 山菜

コシアブラの最大値1080Bq/kgを筆頭に、ゼンマイの120.4Bq/kg、タラノメの最大値56.4Bq/kgなどを意識しておきたい。

### (5) 果実

柿、栗、柚子、キウイに検出判定のものがある。特に栗は17件中9件が検出判定で、うち5件が37Bq/kgを超過、国の基準の100Bq/kgを超えるものは2件(116Bq/kg,118Bq/kg)出ている。

### (6) 肉/魚

猪肉は3件全てが高レベル濃度の数値を示している。(233Bq/kg~400Bq/kg)

### (7) 木材等/木灰/土

測定件数34件の全てが検出判定で、おがくず(平均542.1Bq/kg、最大値1539Bq/kg)、落ち葉(平均221.8Bq/kg、最大値311.6Bq/kg)、ストーブの灰(平均4893.5Bq/kg、最大値8579Bq/kg)など、国の基準を超える極めて高濃度のものが出ている。